東京東村山ロータリークラブ　国際ロータリー第2580地区

週報

国際ロータリー
テーマ

奉仕を通じて
平和を

Vol.46　第2239回例会　2012.11.15

今年度会長テーマ　和で輪を広げ、前に進もう

■司会：
野澤例会運営副委員長

■点鐘：中丸会長

■合唱：ロータリーソング
「日も風も星も」
◆ソングリーダー：
石山会員

■お客様紹介：
當麻パスト会長

◆ゲスト：
第2580地区ガバナー
石川正一様
地区副幹事
本荘修様

◆ゲスト：
多摩分区ガバナー補佐
山田宗孝様
分区幹事
松村博文様

■会長報告　中丸会長

皆さんこんにちは。本日は石川ガバナー、本荘地区副幹事、山田ガバナー補佐、松村分区幹事、お忙しい中ようこそおいで下さいました。そして本日は石川ガバナーに卓話をお願いしてあります。どうか宜しくお願い致します。

また、漆原社会奉仕委員長をはじめとする会員の皆様には、11月10～11日の市民産業まつりにご協力を頂き有難うございました。お陰さまで無事成功裏に終了することが出来ました。

先週は長々とお話しさせて頂きました。本日は石川ガバナーの卓話が控えておりますのでこの辺で挨拶を終わらせて頂きます。

■幹事報告　赤木幹事

■青少年交換委員会：
地区青少年交換委員会主催「懇親会」の案内の受理
2012年12月15日(土)　18:00～
於　学士会館

■例会日／毎週木曜日　12:30～13:30
■例会場／八坂神社　社務所
〒189-0013　東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／石山　敬
■事務所／〒189-0013
東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL　042-393-7500　　FAX　042-395-1166

■日本ロータリー日本事務局：
奉仕室臨時ニュースレター
第3回目「クラブデータ更新」について

■ガバナー事務所：
「第6回全国ＲＹＬＡ研究会」開催のお知らせについて
2013年2月9日(土)　10:00～
於　グランドプリンスホテル新高輪

■東京東大和ＲＣ：
<訃報>石井説一 会員　逝去(1991～92年度会長)
通　夜：11月13日18:00～
告別式：11月14日11:30～
於　セレモアつくば東大和会館

■例会変更：
所沢中央ＲＣ　11/26(月)→臨時総会 他

■回覧：ハイライトよねやま

■出席報告　相羽例会運営委員

在籍会員数	出　席	免　除	欠　席	出席率
31	22	0	6	79.31

■前々回メークアップ修正後前々会欠席：5名
■前々回出席率メークアップ修正後：80.77％
■前々会メークアップ者：
飯田会員：京都西ＲＣ　　目時会員：地区会議
戸澤会員：地区委員会　　漆原会員：清瀬ＲＣ
山宮会員：立川ＲＣ

■ニコニコＢＯＸ　山宮クラブ管理委員

■ご結婚祝月：
赤木会員

■会員誕生祝月：
野崎会員

■令夫人誕生祝月：
町田会員

◆石　川　様：東京東村山ＲＣの会員の皆様のご健勝とクラブの益々のご発展を心よりご祈念申し上げます。みんなで頑張ろう、会員増強!!
◆本　荘　様：ガバナー公式訪問、お世話になります。
◆中丸会長、赤木幹事：
本日は石川ガバナー、本荘地区副幹事、山田ガバナー補佐、松村分区幹事、ようこそおいで下さいました。後ほど石川ガバナーに卓話をお願いしております。楽しみにしておりますので宜しくお願い致します。
◆當麻会員：石川ガバナー、本日はよろしくお願いします。地区副幹事本荘様、ご苦労様です。多摩分区ガバナー補佐山田様、先日はありがとうございました。
◆田中会員：石川ガバナー様、ようこそ東村山へ。会員一同楽しみにお待ちしていました。本荘様、山田様、松村様、大変お世話になっております。
◆嶋田会員：石川ガバナー、遠いところをご苦労様です。本日はよろしくお願い致します。本荘地区副幹事、山田ガバナー補佐、松村分区幹事ご苦労様です。
◆野澤会員：石川ガバナー、昨日の北分区ＩＭに続いて当クラブにようこそ。卓話よろしくお願いします。また本荘様、山田様、松村様、東村山にようこそおいで下さいました。
◆野崎会員：石川ガバナー、遠路ご苦労様です。11月14日の米山奨学生の面接選考ではお世話になりました。山田ガバナー補佐、松村分区幹事、本荘地区副幹事、本日はご苦労様です。
◆山本会員：石川ガバナー、本荘地区副幹事、地区役員の皆様、ようこそいらっしゃいました。本日はよろしくお願いします。
◆相羽会員：本日、仕事の都合が付かず早退させて頂きます。
◆漆原会員：先日の産業祭では大変お世話になりました。無事玉ネギもフランクフルトも完売致しました。売上代金は消防・交通少年団の育成資金に致します。
◆野村会員：石川ガバナーようこそおいで下さいました。
◆目時会員：石川ガバナー、本荘地区副幹事、ご苦労様です。よろしくご指導お願い致します。

本日のニコニコ合計：　54,000円
累　　計　：　643,000円

■ゲスト挨拶

■第2580地区ガバナー
石川正一様

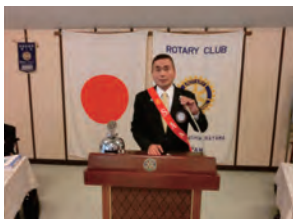
皆さん、こんにちは。本日は公式訪問にあたり、こんなにもご歓迎いただきまして心より感謝申し上げます。また、地元のおいしいうどんを頂きまして、ごちそうさまでした。
多摩分区のＩＭも無事に終わり、昨日で北分区のＩＭも終わり、東京の分区のＩＭはすべて終わりました。ガバナー補佐はじめ、皆さんのご協力をいただき、公式訪問の方も東京60クラブのうちの54クラブまで終わることができました。あと6クラブ、頑張っていきたいと思いますので、ご支援ご指導の程、よろしくお願い致します。ありがとうございました。

■地区副幹事
本荘修様

皆さん、こんにちは。私はここで学んできたので、本当に懐かしく、まだまだ昔お世話になった皆さんがたくさんいらっしゃるので非常にうれしく思います。また、今日の歓迎には心より感謝いたします。日頃から東大和ＲＣの親クラブとしてお世話になり、うちの会員は東村山ＲＣの皆さんを尊敬しております。
石川ガバナーは非常に勉強家ですので、今日の卓話も皆さんに分かり易い言葉で語っていただけると思います。皆さんとともに期待しております。
また、東大和ＲＣの2000回の例会が1月15日に開催されます。現在の浦川会長がいろいろと献立を作っておりますので、ぜひご出席いただきたいと思います。大変素晴らしい例会にしばらくぶりに呼んで頂きありがとうございました。

■委員長報告

■田中ゴルフ部長



こんにちは。来週11月20日（火）2580地区懇親ゴルフ大会決勝戦が行われます。当クラブも予選会1位で勝ち上がり、何が何でも優勝！と思っております。お忙しい中、選手の皆様にご参加頂き、心より感謝申し上げます。心で勝て、次に技で勝て、練習は実践、実践は練習、との強い思いで選手の皆様の検討を祈ります。分区代表として誇りを胸に、心を一つにして頑張りましょう。会員の皆様も楽しみに結果を待っていてください。また、応援よろしくお願い致します。

■３分間スピーチ

■発表者紹介：
山本職業奉仕委員長

皆様、こんにちは。石川ガバナーには、昨日の北分区でのＩＭにてリスボンのＰＲにご協力頂き、誠にありがとうございました。今、掲示しておりますリスボンの横断幕ですが、明日から沖縄に旅に出ます。沖縄のＩＭでまたＰＲしていただくということで、沖縄のしながさんにお渡しいたします。
本日の3分間スピーチは、町田会員にお願いしたいと思います。ガバナーもいらっしゃいますので気合いを入れてよろしくお願い致します。

■町田会員

皆さん、こんにちは。久しぶりにここに立つとあがります。特に今日はお偉方がいらっしゃっていて、なおさら緊張します。
さて、漢字あそびというのは江戸時代からあったそうで、非常に興味深いです。例えば「親切」という漢字、親を切ると書きます。「癒」という字に一字足すと「癒着」という字になります。
石川ガバナーが遠いところお越しいただきましたので、ロータリーに対する疑問を投げかけてみようと思います。「米山スカラーシップ」この問題で、今の漢字遊びではありませんが「奨学金」という言葉を広辞苑で引いたことがあります。広辞苑によると、学力は優秀だが家の事情で進学できない子供に対し、その学力を惜しみ、例えば社会的に損失になるからという理由で援助し、進学を可能にしていくという主旨だそうです。果たして、今の米山奨学金とは主旨をだいぶ違えたような感じがします。
さて、今、秋の火災予防運動をやっております。せっかく時間を頂いたので、これだけ一つ皆さんに覚えて頂きたいと思います。まず、ピンを抜く、そしてノズルの先を持つ。これがすごく大事です。初期消火に一番役立つ消火器の使い方です。これをどうか覚えておいていただき、本日の3分間スピーチに代えさせていただきます。ありがとうございました。

■卓話

■第2580地区ガバナー
石川正一様

皆さん、こんにちは。本日は東村山ロータリークラブの公式訪問にあたり、中丸会長はじめ、赤木幹事、このようにニコニコも頂戴し、大変ご歓迎いただいたこと感謝申し上げます。また、貴重な時間を拝借し、お話ができますこと大変光栄で、心より御礼申し上げます。地区の方でも「オンツーリスボン」の山本地区委員はじめ、野崎会員、野村会員に何度も出向いてもらい、大変お世話になっております。また分区の方では、山田ガバナー補佐はじめ、松村さん、本庄さんには送り迎えまでやってもらい、スムーズに公式訪問が進められること大変感謝しております。

東京東村山ロータリークラブも、もう45周年ということで、かつては阿部士良パストガバナーもいらした由緒あるクラブです。私がお話するようなことはないとは思いますが、ガバナーには任務がありまして、公式訪問は必ず1回は行かなければならないとなっており、ガバナー補佐は四半期に1回ずつクラブに行って、会長と相談しながらクラブを盛り上げるようになっています。そうはいっても、分区連絡会くらいで上期と下期に分けてやってもらい、訪問は2回位ということですが、それでもクラブの多い地域のガバナーは忙しいというのが現状です。また、今回はクラブ協議会にも出してもらって、山田ガバナー補佐も大変勉強家ですので好評を博しているところでございます。

よくロータリーって何ですか、と言われてもよく説明できないし、クラブの幹事や会長に就かないと、かつて私もそうでしたが、手続き要綱も読まないでロータリーを何年も過ごしているという現状だと思います。私はロータリーに入って29年、皆出席でやっております。2009-10年には沖縄分区のガバナー補佐をやっておりまして2010年に那覇北クラブというクラブを特別代表で作りました。それは、たまたま私は平成元年に商工会議所の青年部の会長をやっておりましたので、若い方たちがたくさんいる青年部の方に呼ばれて話をしたり、「卒業したらロータリーに入れ」とよく言っていたのですが、「まだ早い」と言われます。ではいつから入れるかというと、今の若い方の認識なのでしょうか、「60歳位になったら入る」という答えが多いです。ロータリーは若い人に入ってもらわなくては、ということで、では若い人通しで作ってみてはどうかと思い、例会場になるホテルの平らさんという社長に協力してもらい、27名でスタートしました。これは、一業種一会員ということを主張して、必ずしも社長でなくても代表権のある常務さん、専務さん、ロータリアンのお子さんなどにアプローチしたら、スムーズにいき設立することができました。そのようなことで、長い間ロータリーには新しいクラブが出来ておりませんが、東村山ＲＣには清瀬さんや東大和さんなどスポンサー子クラブがありますのでぜひ奮起してクラブでも作ってみてはどうかな、と思ったりもします。また、ガバナーの任務で会員増強というのは、やはり会員が増えるクラブが盛り上がるということですので、これも大きな任務だと思います。

ロータリー財団については皆さんご承知だと思いますが、もちろん法人独立しているのですが、いわゆる財団はロータリアンからの寄付、すなわち1年間で100ドルの寄付でもっているわけで、国際ロータリーと財団は一緒という認識を私たちが持つことが大事で、それをロータリアンに理解してもらいたいと思います。世界にロータリアンは120万人いるのですから、100ドル出せば1億2,000万ドルの基金が集まるわけで、今、一生懸命取り組んでいるのは1985年から始まったポリオプラスに合わせてＲＩの６つの重点分野(①平和と紛争の解決 ②疾病予防と治療 ③水と衛生 ④母子の健康 ⑤基本的教育と識学率向上 ⑥経済と地域社会の発展)を決めて、「Doing in the world」世界でよいことをしようというスローガンを掲げて奉仕をしているところであります。

ロータリーができたのは1905年、国際ロータリーも100年を過ぎ、日本は1920年に855番目のロータリークラブとして東京ロータリークラブができています。ロータリーができてから15年で日本のロータリークラブができたと考えるとロータリーについては先進国だと言っても過言ではないと思います。経済成長に乗っかり、どんどん数を増やしていったのですが、1996年の6月末ＲＩの公式発表によるとクラブ数2,214クラブ、129,909名のロータリアンがおりました。2012年6月末現在は2,294クラブと80クラブ増えたものの、会員数は87,124名と、単純計算で1年に2,600人ずつ減っていることになります。ビジネスでも売上が減ったり、お客様が減ったりというのは決して成功するとは言えませんので、ロータリーの組織においても喜ぶべきことではありません。人的ネットワークを最大限に生かして、ロータリアン一人一人がクラブを通じて考えていかねばならないと思います。

1905年にできた時の原点に返ってみると、ポール・ハリスはシカゴに弁護士として出てきたときに、仕事の知り合いはできるのだけど、なかなか友達ができず、相互扶助と親睦をもとにしてロータリークラブをつくりました。1933年のボストン世界大会でポールハリスはスピーチをして、会場から「どうしてロータリアンは毎週、例会を楽しんでやられるのか」という質問をされました。彼は「ロータリアンというのは形式主義を脱ぎ捨てて、自由な態度に返って例会を持っているからなんだ」と答えました。いわゆる、ロータリアンは地域の代表、業界の代表、会社の代表であり、それぞれ人間には何年も積み重ねたキャリアや肩書を持っているわけで、ロータリーはその肩書きを外して年齢を意識せず、親しく語り合えるというのがメリットであり、そう考えると私たち日本のロータリーはもう一度、例会出席の重要性と職業分類というものを徹底して守って、クラブの運営をやっていかねばならないのではないかと、私は考えます。

国際協議会でガバナーになる前に1週間程、勉強会をする期間があります。その中で直前ＲＩ会長、カルヤン・バネルジー氏のスピーチで紹介されたのがトーマスエジソンの「天才というのは99%の努力と1%のひらめきである」、また、アインシュタインの話を持ち出し、成功者をAと定義するとA=X+Y+Zという方程式が成り立ちます。Xは仕事、Yは遊び、Zは口を閉ざすことだとおっしゃっていました。ロータリーも楽しくなければダメだという話をされ、これはロータリーによく似ているという話をされました。なぜ成功者は口を閉ざすかというのはカルヤン会長からは聞くことができませんでしたが、私なりの解釈では、成功するには企業秘密があると考えられ、成功する秘訣があるのではないかと考えました。例会というのは結局1%のひらめきであ

り、成功する秘訣を持った先輩方の閉ざされた口が開けるような信頼関係を築くように持っていかなければならないのがロータリーだと思います。

若い人が高い年会費を払ってロータリーに入るのは何かというと、私は1つしかないと思います。自分で先輩たちから学んで何かを得たいというものがなければ若い人たちは来ないと思います。何かを得るためには何かを与える人がいないといけないわけで、先輩方が地域の若者、業界や組織の若者を育ててやるという使命感と、若者の思いがうまくかみ合って、ロータリーの意味があるのだと思います。例会の出席を単に自分の都合だけで決めるのではなく、例会の出席こそが身近なクラブ奉仕で、社会奉仕につながるのではないでしょうか。

田中作治ＲＩ会長は、「ピース・スルー・サービス」(奉仕を通じて平和を)を掲げ、30年ぶりに日本からＲＩ会長として出ておられます。1年間100ドルの寄付と言っておりますが、実際にはアメリカ、日本が断トツで、韓国、カナダと4か国だけが100ドル寄付できています。民主主義からいくと、ＲＩ会長に日本のロータリアンから10年に一度出ても珍しくないと思います。ロータリーが行き着くところは最終的には世界平和の実現だと思います。日本の憲法にてらしてみると、日本のロータリアンこそ、しっかり世界をリードしていかねばならないという大きな使命を持っているのではないかと思ったりもします。

もう一つ、新世代奉仕については2010年から5大奉仕になっていますが、青少年交換では皆さんにお世話になっております。毎年20か国150名程を受け入れ、送り出しをしており、将来は母国と日本をつなぐ架け橋となって国際平和に貢献していただけると思いますが、あわせて国際的な人材育成という意味でも大変な功績だと思います。日本のロータリーで今までに奨学したのは17,000名を超えており、奨学事業費は14億円位もつくってやってきたわけです。ロータリーの先輩方は大変な偉業を続けてこられたと敬意を表します。やはり今からの子どもたちは世界で生きられる能力を持っていかねばならないし、私たちが日本の次世代を担う子供たちを育成するために手を差し伸べて支援していかねばならないと思います。

会員増強については、我々がロータリーの真の価値は何かをしっかり自覚しないと会員増強はできるものではなく、我々がロータリーの真価を理解しないと今いる会員もいつかはロータリーを諦めざるをえないと思います。もう一度、真価を正しく認識し、ロータリーは素晴らしいものであると思うのであれば、一人が一人を勧誘すれば単純には2倍に会員が増えます。足元から改めていかねばならないと思います。手に手をつないでみんなで頑張って行きましょう。ご清聴ありがとうございました。

■産業祭の様子(2012年11月10日、11日)

■24年10月出席表

	氏　名	4	11	18	25	28	
名	細渕　一男						
1	相羽　正	○	○	○		○	80
2	赤木　盛一	○	○	○	△	○	100
3	飯田　能士	△	△	△	△	△	100
4	石山　敬	○	○	○	○	○	100
5	樺澤　襄	○	○	○	○	○	100
6	金子　哲男	○	○	△	○	○	100
7	北久保眞道						0
8	熊木　敏己	○					20
9	小町　幸生	○	△	○	○	○	100
10	目時　俊一	○	○	○	○	△	100
11	村田　秀雄			○			20
12	中條　基成	○	△		○		60
13	中丸　繁男	○	○	○	○	○	100
14	野村　高章	○	○	○	○	○	100
15	野村　裕夫	○	○	○	○	○	100
16	野崎　一重	△	○	△	○	○	100
17	野澤　秀夫	△	○	○	○	○	100
18	荻野　昇		○		○		40
19	嶋田　憲三	○	○	○	○	○	100
20	田中　重義	○	○	○	○	○	100
21	當麻　誠	○	○	○	○	○	100
22	戸澤　忠	○	○	○	○	△	100
23	漆原　次男	○	○	○	△	△	100
24	山宮　隆	○	○	○	○	△	100
25	山本　智治	○	○	○	○	○	100
公式平均		89.66	89.66	85.71	86.21	80.77	86.40
出席規定適用免除者							
1	隅屋　宜一	○	○		○		
2	五十嵐光利	○	○	○	○		
3	神崎　武						
4	高橋　眞						
5	村越　政光	○	○	○	○		
6	町田　清二	○	○	○	○	○	100

名：名誉会員　　○：出席　　△：メークアップ

■点鐘：中丸会長